

第3回 平成22年06月17日(木)

第3回の一流塾は、講師に渡邊五郎氏(森ビル株特別顧問、元三井物産株副社長)、西川善文氏(株三井住友銀行顧問、元日本郵政株取締役兼代表執行役社長)をお迎えしました。



渡邊氏は、『龍馬を想い現代に生きる志と心』と題し、経営環境の変化に挑戦する企業経営者と、維新の志士である坂本龍馬の行動・考え方には相通じるものがある。リーダーとして大切な「魂の基軸」として、自然体で生きること、エレガントカリスマ(品位のあるカリスマ性)、エンパワーメント能力、ノブリスオブリジェ(高貴な地位の者に課せられる責任・義務)、和魂洋才等のポイントについて、NY駐在時のエピソード等を交えてご披露頂きました。そして、塾生に対して、たえず新鮮な好奇心をもち、より高い価値感を求め、常に挑戦して生きて欲しい。世界にはばたく未来の坂本龍馬たれ！と檄をとばされました。塾生からは、「豊富な経験に裏打ちされた名言に大変感銘を受けた」、「志の大切さを再認識した」、といった声が寄せられました。

西川氏は、『経営者の在り方ーバンカーの経験を踏まえてー』と題し、経営者は決断力を磨くために、既成概念や過去の成功体験にとらわれずに、柔軟な発想を持たなければならない。そして、経営者は自らがイノベーションの原動力にならなければならないと述べられました。そして、具体的な事例として住友銀行頭取時代の組織改革時の秘話の数々をご披露頂きました。講義後は塾生から活発な質疑が行われ、企業トップとしての自覚、私心を捨てた使命感と覚悟に裏打ちされた言葉の重みに、塾生からは「まさしく“一流”に触れることが出来る良い機会であった」という声が多く寄せられました。



講義後の懇親会では、ゲストに残間里江子氏(プロデューサー、club willbe 代表)をお迎えしました。残間氏は、アラ還、アラ古稀の“大人”の世代はまだまだ元気であり、活躍する場を作りたいという club willbe 設立の熱い思いをご披露頂きました。NY訪問等の近況を交えた機智に富んだ軽快な語り口に、会場は大いに盛り上がりました。